

10月1日付で開設された寄付講座の特任教授に就いた。耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座准教授も引き続き兼ねる。

講座は社会医療法人北



斗(帯広市)から寄付を受け、頭頸部がんの分子腫瘍学的・腫瘍免疫学的解析を通じて、新たな診断・治療法などを開発するの

旭医大頭頸部癌先端的診断・治療学講座の特任教授

林達哉氏

が目的で、設置期間は2021年9月までの5年間。スタッフは自身のほか、専任の特任助教を採用した。

教室では頭頸部がん治療として手術のほか、放射線同時併用動注化学療法を導入し、喉頭などの臓器温存や嚥下・発声といった機能温存を目指す治療を行い、良好な成績を上げている。「寄付講



伝統の治療 進化を

座では、適切なアジユバントの選択に着目した新たな頭頸部がんペプチドワクチン療法の研究開発を進め、教室伝統の頭頸部がん治療を進化させた」と意気込んでいる。

1961年生まれ、釧路管内標茶町出身。旭医大86年卒。小児急性中耳炎診療ガイドライン作成委員長、共用試験実施評価機構医学系OSCE頭頸部ステーションリーダーのほか、大病院ではゼネラルリスクマネージャーを務める。「何事も本気でやる」がモットー。